

# 『パリとヴィエンヌ』のアルハミーヤ文

La versión aljamiada del «Paris et Vienne»

大 高 順 雄  
Yorio Otaka

## 要 旨

15世に成立したフランス語の物語『パリとヴィエンヌ』は広く流布され、ヨーロッパの主要諸言語に翻訳され、16世紀にアラゴン語の写本を翻字したアルハミーヤ文が成立した。これはフランス語の原文の半分にも満たず、作者は不明である。ここではそのアルハミーヤ文の言語的特徴を明らかにする。

鍵 語：『パリとヴィエンヌ』、アルハミーヤ文、アラゴン語、カスティリア語

## A. 写本の系譜

この作品の写本の系譜は複雑であり<sup>1</sup>、現在において確立することが出来ない。ただ、フランス語の祖本からピエール・ド・ラ・セペード Pierre de La Cépède が1432年に作成したプロヴァンス語文が由来し<sup>2</sup>、そこからカタロニア語文が1438年に作られ<sup>3</sup>、このカタロニア語文から一方にカスティリア語文が、他方に1504年ごろアルハミーヤ文が生れたと考えられる<sup>4</sup>。このアルハミーヤ文の写本は既に1876年に知られており、パスクアル・デ・ガイヤングス師 Don Pascual de Gayangos (1809~97) がイスパニアの王立歴史翰林院 Real Academia de la Historia に寄贈したアルハミーヤ文の26写本の

1 Fuentes, *Historia*, pp. 21-2.

2 Bibliothèque de Carpentras, no. 172; Cf. Ribémont, pp. 3-12

3 Álvaro López i Pedro M. Càtedra, *Història de Paris i Viana, edició facsimil de la primera impressió catalana (Girona, 1495)*, Diputació de Girona, 1986, pp. 125-69.

4 Fuentes, *Historia*, Pasajes de la versión castellana, correspondientes al texto aljamiado I, pp. 224-68..

5 Saavedra, pp. 33 et sqq.

うちに含まれている<sup>6</sup>。

さて、このアルハミーヤは、15世紀から16世紀にかけて、モリスコ morisco (キリスト教に改宗したアラビア人) によって多種の宗教作品に用いられた。この語は混成語であり、アラビア語から語彙を借用し、統語を模倣し、多種の敷き写しを行う。それは「無能な人の書いた改竄されたイスパニア語の一種」<sup>7</sup>であるとも言い得る。現今、モリスコの用いたアルハミーヤの辞典が作成されるに至っている<sup>8</sup>。因みに、モサラベ (mozárabe < مسترَبِي) とはイスラムに改宗したキリスト教徒である<sup>9</sup>。

『パリとヴィエンス』について、内容の面から考察すれば、「アルハミーヤ文とカステイリア語文と比較すると、前者は後者に依存していることが明らかである。両者の対応は、しばしば語対語である一方、アルハミーヤ文はカタロニア語文から逸脱し、カステイリア語文はカタロニア語文から乖離する。」<sup>10</sup> 言語の面からみると、アルハミーヤは盛期のアラゴン家の所領内の言語と推定されている<sup>11</sup>。

アルハミーヤ文の『パリとヴィエンス』の写本は、1r.から18r.までに及び、全篇は14章に分かれ、総計534行を数える。各葉の行数を( )内に示す。

1r. (16)、1v. (16)、2r. (16)、2v. (15)、3r. (16)、3v. (16)、4r. (15)、4v. (15)、  
5r. (13)、5v. (15)、6r. (15)、6v. (13)、7r. (14)、7v. (14)、8r. (15)、8v. (14)、  
9r. (17)、9v. (17)、10r. (17)、10v. (18)、11r. (16)、11v. (16)、12r. (16)、  
12v. (16)、13r. (15)、13v. (16)、14r. (14)、14v. (15)、15r. (15)、15v. (14)、  
16r. (15)、16v. (15)、17r. (15)、17v. (15)、18r. (14)

本論においては、1r.、1v.、2r.、2v.、3r.、3v.、4r.、6r.、6v.、10r.、10v.、16r.、16v.、17r.、18r. から計244行を取り上げた。但し、引用に当たっては母音符号と重子音符号を省略し、人称代名詞は独立させた。

この物語の特徴は次の3写本に代表される。

- 1      Bibliothèque nationale de Paris, f. fr. 1480  
        若い恋人が両家の葛藤のために結婚を阻まれ、騙し合う様子が諧謔的に叙述される。
- 2      Bibliothèque royale de Bruxelles, KBR. 9632-9633

6 Fuentes, *Mss.*, XXI, pp. 131-38.

7 O. Hegyi, «Una variante islamica del español: la literatura aljamiada», in Dámaso Alfonso, Emilio García Gómez, Rafael Lapesa, Martín de Riquer, Antonio Tovar, Alonso Zamora Vicente, *Homenaje a Álvaro Galmés de Fuentes I*, Oviedo, Universidad de Oviedo - Madrid, Editorial Gredos, 1985, p. 647.

8 Á. Galmés de Fuentes, M. Sánchez Álvarez, A. Vespertino Rodríguez, J. C. Villaverde Amieva, *Glosario de voces aljamiado-moriscas*, Universidad de Oviedo, [Biblioteca Árabo-Románica 1], Oviedo, Universida de Oviedo - Fundación Ramón Menéndez Pidal, 1994.

9 Menéndez Pidal, 86, p. 415.

10 Fuentes, *Historia*, p. 40.

11 Fuentes, *Histoia*, p. 224.

諧謔の中にもパリの勇敢と高貴を描いて虚言の虚像を否定する。

3 Bibliothèque nationale de Paris, f. fr. 20044

諧謔を排して苦しむ恋人に対する真摯な同情に焦点が合わされる。

アルハミーヤ伝来本文は上記の梗概の後半にほぼ対応し、写本全体は2群に分類される。

第1群

成立時期の古い本文はフランス語の7写本によって伝えられる。葉数と成立年を( )内に併記する

- |   |  |              |
|---|--|--------------|
| 1 | Carpentras, Bibliothèque Municipale 1792 <sup>12</sup>   | 3葉 (1317年)   |
|   | 1r. [B]arlan qui mot fut sage.   |              |
|   | 1v. Je suis de saint Piere. J'ay prins le non de la Cypede pour sournon. Et fut encommancé a escrire cest libre l'an de grace mil [cccc] xxxii le tiers jour del moys de septembre et pour moy [par] Inart Beyssan traylatié M [cccc] xxxviii a xvii dy moys de februer. |              |
|   | 2r.-3v. 損傷甚だしく、解読困難である。1r.と2r.、2v.、3r.、3v.とは書体においても紙質においても異なる。   |              |
| 2 | Bibliothèque Nationale f. fr. 1480 <sup>13</sup>   | 201葉 (1452年) |
|   | 卷末に次の記入が読まれる。 septembre l'an mil cccc cinquante et deux.   |              |
|   | 別の筆跡で次のように読まれる。<br>Roman de Paris et Vienne, fille de Godefroy de Lanson, dauphin de Vienne, traduit du provençal qui l'avoit traduit esté du Calatan.   |              |
| 3 | Bibliothèque Nationale, f. fr. 1464 <sup>14</sup>  | 129葉 (1443年) |
| 4 | Bibliothèque Nationale, f. fr. 1479 <sup>15</sup>  | 98葉 (1459年)  |
| 5 | Bibliothèque Nationale, f. fr. 1480 <sup>16</sup>  | 201葉 (1480年) |
| 5 | Bibliothèque de l'Arsenal 3000 <sup>17</sup>   | 107葉 (1443年) |
| 6 | Bibliothèque Royale de Bruxelles 9632-33 <sup>18</sup>   | 136葉 (1332年) |

第2群

- |   |  |            |
|---|--|------------|
| 1 | Bibliothèque Nationale, f. fr. 20044 <sup>19</sup> | 56葉 (15世紀) |
|---|--|------------|

12 Kaltenbacher, pp. 38 et 630-32; Babbi, p. 11.

13 Kaltenbacher, p. 19., Babbi, p. 11.

14 Kaltenbacher, p. 19., Babbi, p. 11.

15 Kaltenbacher, p. 19., Babbi, p. 11.

16 Kaltenbacher, p. 19., Babbi, p. 11.

17 Kaltenbacher, p. 18., Babbi, p. 11.

18 Kaltenbacher, p. 20., Babbi, p. 11.

19 Kaltenbacher, p. 20., Babbi, p. 12.

2 Gheraerd Leeu, Antwerp, 1487<sup>20</sup> 39葉 (1487年)

3 William Caxton<sup>21</sup> 35葉 (1485年)

成立時期の新しい写本は、フランス語の12刊本<sup>22</sup>、イタリア語の4写本<sup>23</sup>、イタリア語、カステイリア語、カタロニア語、英語、フラマン語、スウェーデン語、ラテン語、アルメニア語の刊本によって伝えられる。

なお、Anna Maria Babbi は新たな研究により次の2写本を加える<sup>25</sup>。

1 Bibliothèque Nationale, nouv. acq. 10167

2 Österreichische Nationalbibliothek 3432

## B. 物語の梗概

中世フランス語の物語『パリとヴィエンス』*Paris et Vienne* はヴィエンス Vienne の領主の娘ヴィエンス Vienne と騎士パリ Paris の恋物語である。これは騎士物語『戦の書』<sup>26</sup>と双璧をなす。

ヴィエンス Vienne はゴドフロア・ダランソン Godefroy d'Alençon とフランドル Flandres 伯ディアヌ Diane の娘である。パリ Paris はドーフィネ Dauphiné の騎士ドーファン Dauphin の友人ジャック Jacques の息子であり、歌い奏でるのを得意とする。パリはヴィエンスに恋し、名を伏せてヴィエンスの部屋の窓の下で「夜明けの歌 *aubade*」(南仏抒情詩の定型詩の一)を奏で歌う。しかし彼は身分の相違のため彼女を娶ることは出来ないと知りつつ、都市パリと都市ヴィエンスで騎馬槍試合に臨んで武芸を磨く。パリの宮廷では絶世の美女の選定を巡って、イングランドのコンスタンス Constance、フランドル Flandres のフロリーヌ Florine、ドーフィネ Dauphiné のヴィエンスの誰かを決め兼ねている。フランス王がそれを解決するために、パリで騎馬槍試合において勝者の「奥方 *dame*」を最美女とすることにする。名を秘したパリはヴィエンスを「奥方」と定めて奮闘し、最高の殊勲を挙げる。最美女はヴィエンスと定められる。このような息子の武勇を知らない父ジャックはパリを騎士としての修業に欠けると判断し、友人エドゥアール Edouard に相談する。エドゥアールは父子の諍いを

20 Kaltenbacher, p. 31; Babbi, pp. 29-30.

21 Westminster, December 19, 1485. *Paris and Vienne, Translated from the French and Printed by William Caxton*, Edited by MacEdward Leach, EETS, Original Series 234, published for The Early English Text Society, London - New York - Toronto, Oxford University Press, reprinted 1970.

22 Kaltenbacher, pp. 21-2.

23 Kaltenbacher, pp. 23-4.

24 Kaltenbacher, pp. 23-5. なお、フランス語とイタリア語の刊本については、Babbi, pp. 29-53.

25 Babbi, p. 11.

26 Álvaro Galmés de Fuentes, *El libro de las batallas (narraciones caballerescas aljamiado-moriscas)*, Discurso inaugural del año académico 1967-68, Oviedo, Universidad de Oviedo, 1967.

避けさせようと、パリをブラバン Brabant に旅立つよう勧める。パリはヴィエンヌの想いに後ろ髪を引かれるまま家を後にする。パリの留守中にジャックは病に伏せる。妻ディアヌとヴィエンヌが懸命に看護する。ヴィエンヌはかつてパリの騎馬槍試合において目覚ましい勝利を博した騎士が自分を「奥方」として奮戦したパリであると知らされる。パリはブラバンから戻ると、司教サン・ロレンツォ San Lorenzo を通じてヴィエンヌの変わらぬ愛を知らされ安堵する。しかし、フランス王は自分の甥に当たるブルゴーニュ公の息子をヴィエンヌと娶らせようとする。

ヴィエンヌとパリは逃避行を企てる。しかし風雨に妨げられ、難路に阻まれて行路は思うに任せない。パリの従者ジョルジュ Georges が病死する。ヴィエンヌは父の差し向けた追っ手に捕えられて家に連れ戻され、乳母の妹で腹心の友イザベル Isabelle と共に獄に入れられる。パリは執拗な追手を振り切ってジェーノヴァに逃れ、ついでバイルートに隠れ、期を窺ってジブラルタルへ身を伏せる。彼は回教徒の服を纏い、アラビア語とペルシア語を操る。一方、ヴィエンヌは重病を口実にブルゴーニュ公の息子の求愛を断る。フランス王はドーファンに巡礼者の姿をさせて回教徒の諸地方に遣ってパリを探させる。ドーファンはアレクサンドリアで回教徒に捕縛され投獄される。それを知ったパリは八方手を尽くし、看守に葡萄酒を飲ませ馳走して買収し、ドーファンを牢屋から連れ出し、同行してフランスに戻る。パリは回教徒の身なりのままヴィエンヌに会い求婚する。ヴィエンヌは離別に際して与えた指輪によって相手がパリであること知る。両人はエドゥアールとイザベルの仲介でめでたく結婚する。この筋立てには1349年におけるフランス王家によるドーフィネ Dauphiné の併合が明らかに読み取られる。<sup>27</sup>

また、この作品はキャクストン William Caxton<sup>28</sup> によって1485に英語に訳されており、1562に現れたブルック Arthur Brooke およびペインター William Painter<sup>29</sup> の作品とともに、シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』の構成に影響したと推定することが可能である。<sup>30</sup> シェイクスピアの筋立ては次のようである。

14世紀のイタリアの都市ヴェローナでは、皇帝派モンタギュー家と教皇派カプレーティ家が流血の抗争を繰り返す。モンタギュー家の一人息子ロミオは、キャピュレット家の一人娘ジュリエットを恋し、夜な夜な彼女の家の窓の下で恋の歌を歌う。

27 Saavedra, pp. 40-1; Coville, pp. 481-91.

28 *Paris and Vienne, translated from the French and printed by William Caxton*, edited by MacEdward Leach, [EETS Original Series 234], London - New York - Toronto, The Early English Text Society, First published 1957 (for 1951), reprinted 1970.

29 *Romeus and Iuliet*. Arthur Brooke - *Rhomeo and Iulietta*, William Painter, edited by P. A. Daniel, published for The New Shakspeare Society, London, N. Trübner, 1875.

30 しかしこのことに言及した文献目録はない。Cf. Gordon Ross Smith, *A Classified Shakespeare Bibliography 1936-1958*, Pennsylvania, The Pennsylvania State University Press, 1963.

両人は修道僧ロレンスの計らいで秘かに結婚する。その直後、ロミオは友人と共に街頭で抗争に巻き込まれ、キャピュレット夫人の甥ティボルトを殺害した罪で追放される。キャピュレットはジュリエットに親戚のパリスと結婚するよう命じる。助けを求められたロレンス修道士は、ジュリエットをロミオに添わせるべく、仮死の毒を使った一策を講じる。しかしそれはロミオに伝わらなかった。ロミオはジュリエットが服毒して死んだと思い、彼女の墓で服毒して死ぬ。その直後に仮死状態から目覚めたジュリエットも、ロミオの短剣で自害する。事の真相を知って悲嘆に暮れる両家はついに和解する。

### C. アルハミーヤ文とカスティリア語文<sup>31</sup>

全体の約半分を抜粋して対比して見よう。<sup>32</sup>アルハミーヤ文に施した下線はカスティリア語文に存在しないことを示す。一方、カスティリア語文の下線部分はアルハミーヤ文に存在しないことを示す。

1r.

(1) كا نواشا برتد شاا لواغ ا برش كا بي ل بلن(2) دا بين لواغ فوا ا فبل كن ش  
 كنيار | (3) جرد ا دش لا ي كاري كا ت ما فزياشاش ان | (4) غرن بازار كا شابش كا  
 ي كيار مي مل | (5) ا ان انبرا دا اكاشت سبدد اكيار ا متر ا كا | (6) ري كا ت  
 فواشاش ال بوارت دا اوش موارتش | (7) ا الكاشاش ان فشت ا بشترا لا ل مندا ا  
 تم بلز | (8) دا كنزا ديش ك تا أي دا أغوردر ا لش مانا | (9) شتار كا تا انفرماش مي  
 بيان دا اش تيارش | (10) ا بشش ا ان كد جردن تيباشاش سنك كب | (11) لش بر  
 رافاراشكر دا كبلغدرش ا كتك برا | (12) دنار ا دش جرد كار كتنانت دا فزار تد كونت  
 | (13) ال مندشا ا تم لمناد ا مي برياشت شاا برتي برد | (14) وش موارتش ا فل ا  
 نفشت دا جانب ا براسي لا | (15) كا شاري ماجر كا اتر نبي ا لواغ لا | (16) ش دي ل  
 مير برتا دال دنار ا كبل.

que nuestra partida sea breve, y Paris, que veyla voluntad de Viana, en breve fue su pensamiento deliberado, y prestamentese partio de alli por dar complimientode aquello que Viana le avia dicho. E hablo primeramente con su amigo llamado Jordi, y dixo le : « Yo queria que tu me hizieses un plazey sepas que yo quiero muy mal a un hombre de aquesta

31 Fuentes, *Historia*, pp. 253-5, 257-8, 260-61, 267-8.

32 Cf. Fuentes, *Historia*, pp. 190-209.

ciudad, el qual ha hablado desonor a mi padre, y quiero provar delo matar, y querria que tu fuesses fasta Aguas Muertas, y fletasses una fusta, y la tuviesses presta fasta queyo oviesse complido mi hecho, y que te informasses bien de las tierras y passos, y a cada jornada estuviessen cinco cavallos parejados para refrescar de cavalgaduras, y cata aqui hartos dineros que bastan. » E dixo Jordi que era presto de hazer su mandamiento, y mucho presto se partio para Aguas Muertas, y alli hallo una galea de la ciudad de Genova, que le parescio que seria mejor que otro navio, y luego la fleto, y les dio la mayor parte de nolito, y aparejoa cada jornada cinco cavallos

## 1v.

(1) ش مي بيان ابراجدش ا مر مي بيان لش تيارش ا بـ | (2) شش ا باراشتماننا شا  
 ترن ا برش ا لا | (3) راشبواشت ا لا دش كم آر تد مي بيان ابرالدا | (4) ا كا مرشا ش  
 أتر كش مندب ا يرش لا دش | (5) كا لا فزياشا بلزار دا ترنر شا كنال ا جرد دش  
 ا (6) كار كنتانت ا باراشتمنتا أنبي ا دازر ا بين | (7) كا تد ار مي بيان أرداند ا كا  
 اكال نجا ال | (8) شوان فواشا ابراجد ا مند ا جرد كا ابراشا سنـ | (9) ك كبلش اش  
 ماجراش دال أشتبل ا أرمش | (10) ا تدش ككشش ناساشريش ا تم مي غرندا | (11) دا  
 مناد شاكارمانتا ا لابرن كن شع ان بجا | (12) ا شاليارن فوار دل شبدد أن لغر  
 شاكرات ا أل شا | (13) كادرن جرد ا يال بجا كن لش كبلش ا برش | (14) شا فوا ا  
 لغر دندا أل شبي ا فز ش شانل ا بين | (15) ا دابل بر ان فنياشتر ا اشبار كن ال  
 باشتدش | (16) كم ا شليارن انش ا بيات فشت

muy bien aparejados, y paro mientes las tierras y passos, y prestamente torno a Paris respuesta como todo era muy bien ordenado, si otra cosa mandava, que el erapresto a su plazer, y Paris le dixo que fuessecon el, y prestamente embio a dezir a Viana que todo era muy bien ordenado, y que aquella noche a la hora del primer sueño fuesse aparejada. E Paris dixo a Jordi que aparejasse quatro cavallos los mejores del estado y armas y todas cosas necessarias, y muy gran quantidad de moneda secretamente. E tomaron con sigo un paje que tenian, y fueronse fuera de la ciudad en un lugar secreto. E alli Jordi y el paje estuvieron esperando con los cavallos, y Paris se fue al lugar donde el sabia, y hizo su señal. E Viana descendio por una finiestra, y Ysabel con ella, bestidas como hombres, y fueron assi a pie fasta

2r.

(1) کا اکاشت نجا ا دا متن یشارن اک بنتا | (2) ا سنک دا اکبل کا لش بن ا بشکر ا  
 اشتش | (3) کا ی بشک دش ال کبالن داش فزار ام کا ی | (4) کپار بشکرش الغن کش  
 شانترای تا ترنرا | (5) راشیواشت افواشا ال اغلاشی داش ا برش | (6) شارا  
 باند ان کراو دا برتا دل دلفن | (7) بشکند ان دنزار ا بیانش کا دابا شار اشت | (8) ا  
 زا کا کولکیارا انبار کا لش تیانغ | (9) آنکیبارتش ا بان دا باردارل بدالش بیاناش |  
 (10) ا دزا کاشت نجا ا دا متن شارن اک بنتا سنک | (11) کبلارش کا لش بن بشکند  
 ا برایش بش | (12) رواغ کا ی ن ای مل بر بش ا کا ما دیش | (13) کنشاج آن اکاشتا  
 تن غرن بالغر ا برش | (14) لا دش ا شبارد بش ان بک ی بش ترنرا | (15) راشیواشت ا  
 دانتر برش ا بین کن ل کلر تد | (16) یاردد ا بین کوند ل بد اش دش لا کا نوابش

que aquesta noche o demañana seran aqui XXV cavalleros que los van buscando a estos que yo busco. E dixo el capellan : « Dexa hazer a mi que yo lo pesquisaré, y si alguna cosa supiere, yo te tornare respuesta, y fuesse a la yglesia.» Y hallo a Paris, y dixo le : «Señor, agora es venido un correo de parte del dolfín buscando una donzella, y me parece que es convos, y dize que todo hombre, que los tenga encubiertos, cae en pena de la vida y de los bienes, y esta noche o de mañana seran aquí veynte y cinco cavalleros que los van buscando. Ruego os que yo no aya mal por vos.» Y Paris dixo : «Esperad un poco, y yo os dare la respuesta.» Y entro a Viana con la color

2v.

(1) کانش باند اش دامدد ا برش دش | (2) می غرن ششبر ا دیش اش نوابش | (3) بر  
 م برکا آن می بارایا تیانب شار | (4) کنبلد م بانتر مش مج اش ترشتا م بد ام  
 کرسن | (5) برکا ا ان تن نبلا شانر کم بش شیش ای ما | (6) تد آن تن غرن بالغر  
 دا موارتا می دلس بین | (7) مج فوا دلرش اکال کا بش فبلشتاش | (8) کن ما کرام  
 بانتر ا دیش تدبدارش | (9) کم اش فاج اندر م بانتر ال راباش ا نبلا | (10) اکاشتا کنشاج  
 بون بر م ان | (11) بر بش برکا ش لش بوادان نش تریرن | (12) ا مرتل فن ا برشتا  
 نش کا فغ ا ینش شا | (13) ترمانتب برش دلنتا دا بین می دلرش | (14) منتا ا بین کا  
 ل بالی می کروالمانتا اترمان | (15) تر دش ا دیش برش کا بانتر اش اشت

perdida. E Viana, que lo vido assi, dixo le : «Paris, como venis assi demudado?» E Paris respondio con gran sospiro: «O ! Dios. Sera complida mi ventura, mas mucho es triste mi anima, y el mi coraçon. Que tan noble donzella como vos soys, aya yo metido en tan gran peligro de muerte. O ! Viana. Mucho fue doloroso dia aquel que vos hablastes a mi, y mucho



es cruel mi ventura. O ! Dios todopoderoso. Como has hecho andar assi esta mi ventura al reves. Noble Viana ! Aqueste consejo fue bueno para mi, y no para ti. Que sepas quemucha gente viene tras nosotros, y si ellos podran, nos traeran a mortal fin, porque yo no se que me haga. E assi se atormentava a Paris muy dolorosamente delante Viana, y Viana que lo veyá cruelmente atormentar, dixo : «Paris! Que ventura es esta

3r.

(1) نواشتر كا تنتت للبد ا انش نش داشتیب | (2) نواشتر كمن كا ي مج شي ترشتا ا دلرش | (3) مش رواغت م كر شانر بواش انش اش | (4) كا ت تماش م كنشاج كا اغر لواغ تا برتش | (5) دا اك ا ي م شار جشت اشكش ا كم دش برش | (6) كا ي بش داشا سيارتماننا ن ل ف كال م موارتا | (7) شار انش التمانتا بانكد كا تيانبش | (8) شار مامري ا بين لا دش مي ك كا | (9) باي كا شيشا ا برالد دا مرر بر م بواش | (10) م بانتر ما كيارا داشر ل بد رواغ كا | (11) ن ما ل كتاداش بر كا ا ي مرر ا بش ي | (12) مشم ما كترا ل بد براش بش رواغ م كر شانرا | (13) كا بش بيداش دا اك بركا ان كا م بدرا | (14) ما ترنا ا ال بر اش ن ما متر بر اش بش رواغ | (15) م مي كر شانر كا بش تمايش م كنشاج | (16) ا برش لا دش ا مي دلسا بين

nuestra, que ha tanto llovido y nos ha ansi nos estorvado nuestro camino. Mucho soy triste y dolorosa. Mas ruego te, caro señor, pues assi es que tu tomes mi consejo, y que agora luego te vayas de aqui, y a mi sera justa excusa.» E como dixo Paris que yo vos dexé, ciertamente yo no lo hare que la mi muerte sera assi altamente vengada que por todo tiempos sera memoria.» E Viana le respondió : «Yo soy muy alegre que veo que vos soys dispuesto de morir por mi, mas pues la mi ventura me quiere dexar la vida. Ruego vos : no me la quiteys que si yo aqui veo morir a vos. Yo misma me mataria, porque os ruego que os vayays que aun que mi padre me vea por esso no me matara, por tanto tomad mi consejo. ». Y Paris le dixo : «Señora, no me podre

3v.

(1) دار ما دا بواشترش مي دلشاش بلبرش بر اش | (2) بش رواغ كا بش ن كارداش بار م فن | (3) كال شار بارابا ا ان ا شار ي موارت ا بش | (4) شار داش فوار دا مش بارنسا ا ي ان بریداش | (5) ابار غرن انرا كم اب دج اكاشت ماتي من | (6) بر ش اشبد ا كش شال بنار بر ال كوارب ا بين | (7) كال برياشت ا بش لال من شبرال اش | (8) بدش ل كا كارداش فزار بر بانتر | (9) كارداش بش متر بر سيارت

بوش کا بوش | (10) کاراداش مرر ي کيار شار اکاا کا ا دا متر | (11) بر کا بيان ش  
 ممي کر شانر کا کيان | (12) ا ش ماشم مت بياردا ألكوارب ا يال للم ي ن  
 کيار | (13) بواش کا باردایش أَل کورب کا باردیش | (14) أَل للم ا تم لا ل شبد دا ل  
 من ا فز کم کال ل کاري | (15) متر ا تم ل أشبد ا دشلا بر ل فا کا ي تانغ ا  
 نواش | (16) ديش کا ش اعر لواغ ن بش برتش

defender a las vuestras palabras, porque vos ruego que no querays ver la mi fin, ca es muy breve, y yo sere muerto y vos sereys fuera de las mis palabras, y sereys hallada sola aun, podiades aver gran honrra.» Y como avia dicto estas palabras, puso mano a su espada y quiso se la meter por el cuerpo, y Viana, como lo vio, fue muy presto, y puso le la mano sobre la espada, y dixo que es lo que querays hazer. «Por ventura quereys os matar, por cierto pues quequereys morir, yo os matare, y comono sabeys que quien a si mismomata, que es homecida, y pierde el cuerpo y el anima, y yo no quiero, pues que quereys perder el cuerpo, que perdays el anima.» Y tomo le la espada de la mano, y hizo como que ella le queria dar, y tuvo la assi, y dixo : «Por la fe que devo a Nuestro

4r.

(1) دا اک ي مشم ما مترا کن بواش | (2) ا باردار أَل کوارب ا أَلَم ا بش شارایش  
 سین | (3) دا م کروال موارتا لور دش برش شانر ن فغداش | (4) تل کا ي فرا تد  
 کونت بش ما مندایش ا کن مي | (5) غرن دلر ا مي غرن داش ششبرش شا برت ي  
 برش | (6) ا ل أنکماند ا ديش ا شا برتي کن تن غرن بان | (7) ا دلر کا ننگ انبارا  
شنتي تن غرن بان ا بين | (8) مي مانتا ل ابرسا ا ل باش ا مج لا رغ کا ش- | (9)  
يانبارا لا فزياشا ا شبار دا ش بانتر کا شش امراش | (10) تارني بر مترامي ا کا ن  
 شا مانغوشا برتر نان- | (11) غن باراشن ا بر کا ماجر شا لا راکردشا دا ل شکشا |  
 (12) ان ائل دال داد أنلکول ابي ان رک ديمن ا دش لا | (13) کا جمش ن شا ل کتشا  
 دال ا ينش شا برتیارن | (14) ا بين مج رغ ا ديش کا الغن تينب شا لا دا- | (15) ششا  
 بار اش کم أَل داشايب

Señor Dios, que si agora luego no vos partis de aqui. Yo misma me matare con aquesta vuestra espada, ydare mi cuerpo y mi anima a perdicion, y vos sereys ocasion de mi muerte.» Entonces dixo Paris : «Señora, no lo hagades que yo hare quanto vos mandeys.» E con muy gran dolor y con muchos sospiros la encomendo a Dios, y se partio con gran dolor y pena. E Viana lo beso y abraço, y mucho le rogo que le hiziesse saber la su ventura, que los sus amores yel matrimonio, que entre ellos era, por esso no se amengasse. E porque mejor se le recordasse, de la sacose un anillo del dedo en que tenia un rico diamante, y dio ge lo que jamas no se lo quitasse de si, y assi se partieron, y Viana rogo mucho a Nuestro Señor Dios

que algun tiempo ge lo dexasse ver assi como ella desseava.

6r.

(11) شانر | (12) بدرا نواشتر أشبارنش ما فزا اشتر أن غرن | (13) بان مج بش رواغ كا  
ما باردنايش م لك | (14) أنباراش لكول ما ش مي دلرش ن شبياند ل كا | (15) بر م  
بش ا باند نانفن بوان كنوار

Señor padre la vuestra esperança me haze estar en gran pena, y ruego os que me perdoneys la  
mi loca empresa, la qual me es muy dolorosa, no sabiendo lo que por mi vos ha venido de  
mi ningun buen conorte

6v.

(1) ن بش بواد اشكارابر شلب كا ما ا كادد ل | (2) كن بد ا كتد تدأشبارنش دا م كا  
جمش ننگ | (3) مش ما بارايش ن تانغ دابزر بشكند ل مش أش- | (4) ترن تيار دال  
مند أناشترن رالجن بر كا ن شا | (5) بيش نواب دا م نانغن ا بركا ن كادايش | (6) شن  
فج م كر امغ دارد داش أن م لغر ا ك- | (7) يار كا شاي بواشتر فج اش أن موارتا  
كم | (8) أن بد ايان أردميانت كم ش فواشا ي ماشم | (9) ا يتر ن بش فج ا شبار شن  
كا اي بواشتر غرن | (10) باردن ال كرت كانبي ا دارد دازي انش

no vos puedo escrevir, salvo que me ha quedado la mezquina vida, y perded toda esperança  
de mi que jamas no me vereys ni tengo de tornar, buscando la mas larga tierra del mundo todo  
me pone en estraña religion, por que no se pais nueva de mi y porque no quedeys sin hijo a  
mi caro amigo Eduardo vos dexo en mi lugar, y quiero que seya vuestro fijo. Assi en muerte  
como en vida, y en heredamiento como si fuesse yo mismo, y otro no vos hago saber sino  
que haya vuestra gracia y perdon. La carta que embio a Eduardo dezia ansi.

10r.

(11) ا دا كا اي ال دلفن اكال ا بي كا بون أشتب | (12) أنالمر مر دا برش دش ال  
فج دال دكا دا برغ | (13) كا ابي دا شارش يارن شانر ي باي كا م | (14) فج أشتر  
مج تيانب أن شنر بر اش بش | (15) رواغ كا بش ترنايش ا كوند ال شار شن | (16)  
ترنرامش ا فزار نواشتر مترمني ا دي لا | (17) مج مناد | لور لواغ شا برتي بر ش  
تيار

El dolfin, veyendo que Viana estava assifuerte en el amor de Paris, dixo al hijo del duque que

aviade ser su yerno : “Señor, yoveo que mi hija estara mucho en sanar de la enfermedad. Por esso vos ruego que os torneys, que quando ella sera tornada ensu sanidad tornaremos a fazer nuestro matrimonio.” E dio le muy preciosas joyas y mucha moneda. Y el hijo del duque fuesse para su padre, y le conto todo el hecho.

10v.

(1) ا ش بدرا تد ل كا ابي بشد كنال دلفن | (2) ا يل دلفن فر بائر ان ماستر دا فزار  
كشش | (3) ا فز انال بلسي فزار ان كبل دابش دا تيار | (4) مي بيان سارد كا ن  
بدياشا انترر ال فري | (5) ا فز ماتار ال ا بين ياشبار شن نانغن رب | (6) ناتر كش  
نانغن يل لاش فزي درأ كمار | (7) بن ا يوان باز ال دي ا تد ائت بشب بين | (8) ا  
كنبرتب بر مر دا برش ا يال فح دال دكا | (9) دا بارغن شيباند ل فارمشر دا بين  
ائتب | (10) مي انمرد دا ش امر تنتت كا ان دي برتي | (11) شاكرا تمانتا دا ش تيار ا  
فواشا شيل | (12) ال دلفناغ بر شبار كا ار دا بين ا يال دلفن | (13) ل راسبي مي انردماتا  
ا لا دش كم بين | (14) ن ار ان شن ا يال مس لا دش شانر ر- | (15) واغ بش ش  
شار بوادا كا ي ل باي انش كم | (16) ائت ا يال دلفن باياند اكاشت دش لا | (17) بواش  
كا انش اش ن بش كيار مش تانا

Y el dolfín hizo venir un maestro de hazer casas y dentro en el palacio mando hazer unacapilla debaxo de la tierra bien cerrada, que no pidiessen entrar ayre ni frio y dentro hizo meter a Viana y a Ysabel sin ninguna ropa ni otra cosa ninguna, y allí les hazia dar de comer y beber una vez solamente pan y agua, y todo esto passava Viana y comportava por amor de Paris, y el hijo del duque de Borgoña sabiendo la gran fermosura de Viana, estava muy encendido en el su amor, y un dia partiosse secretamente d su tierra, y fuesse al Dolfinazgo por saber que era de Viana”. Y el dolfín le recibio muy honrrandamenete, y le dixo como Viana no era aun sana, y el moço le dixo : “Señor, ruego vos que yo la vea assi como esta.” Y el dolfín veuyendo aquesto dixo le : “Hijo, pues assi es no vos quiero tener mas

16r.

(1) ببندش ا بوان بن فواشا ا لش غوردش | (2) ا شلاش شانراش بواش تنتت بلزار ما  
ا- | (3) بايش فاج دا داشارما فبلر كناشتا انبار | (4) منن ي ما برت ا كيار ائت نجا  
تمر بلزار | (5) كن بشترش ا دي لاش تنتت دا كمار | (6) ا تنتت دا بوان بن كا كم بن  
ال برمار | (7) شوان تدش فوارن انبريغدش دا شوان | (8) ا دا بن ائتباين تدش كم  
مورتش ا ل- | (9) تم لاش برش اش كلباش دا ل باراشين | (10) ا ييري اش بورتش |

دش ال فريرا كا داش- (11) فارشا ال دلفن مي شاكاراتمانتا كال (12) تارني اج اش غوردش اش نانغن شا (13) مبي كال ل متري اش نانا لاش فري (14) نانغن دن لواع ال فريرا داشفار لاش منش (15) لاش بياداش دال دلفن ال بشتي ان فرم دا مر

viandas y mucho buen vino. Y el se fue a las guardas y dixo les : «Señores, pues tanto de plazer me aveyshecho de mañana yo me parto, porque aquesta noche yo querriatomar plazer con vosotros. E dio les muchas viandas, y muy buen vino. E como vino el primer sueño fueron todos embriagados de sueño y de vino estaban quasi todos muertos.» E Paris tomo les las llaves de la prision y dixo al frayle que deferrasse al dolfin tant secretamente como podiesse, y que el ternia mientes a las guardas, que si no se moviessen, que el no les haria mal nunguno. Y el frayle frayle abrio la prision y defferro las manos y los pies al dolfin y lo vistio en forma de moro.

16v.

(1) اش شليرن شا افوارن شا ال مرن انترن (2) انل فشت مي الاغرامانتا انوا شتر (3) نر ديش لاش دي تن بوان تيانب كان (4) بك تيانب فوارن ان برت ال لءر ا ر برت (5) دا كرشتينش ايل لا فزيارن غرن راشا. (6) بميانت ا لا باراشترن مج م ناد ا برتبارن (7) دا برت افوارنشا ال عشل دا جبلتر دندا (8) ار راي ان دال كاش دا فرنسي اكنسيارن (9) ال دلفن ا فزيان لا مج انرا دي لا مج منام (10) ا دي لا دش غلارش كال لابشان اد وش (11) مورتش الاغرن اش دلفناغ كن مي (12) غرن ن الاغري اكن غرن فياشت لاش (13) راسبيارن ا بين راسبي مي غرن كن. (14) شلسد بين بازار ال ان ل باراشين اين (15) دي ال دلفن فز بالاغر تدش جانت

Salieron se todos de alli, y fueron se a la ribera de la mar, yalli ellos entraron en el navio con muy gran alegria. El dolfiny Paris y el frayle y el pajede Paris y hizieron vela, y nuestro nor (sic) Dios les dio tan buen tiempo que jamás pararon fasta Baruch, y alli descendieron en tierra, queentonces Baruch era de christianos, y el dolfin tomo tantoplazer quanto pudo, y alli se hizo prestar moneda, y partieron de alli, y fueron a la ysla de Chipre, donde era rey, uno queera de la casa de Francia y conosco al dolfin, y hizo le muy gran honnra, y dio le mucha de su moneda, y dio le dos galeras que lo truxeron fasta Aguas Muertas, y fueron en el Dolfinazgo con muy grandissima alegria. E fueron recibidos honnradamente, y con muy gran plazer, y duro bien veynte dias. E Diana veyendo al dolfin tomo consolacion y alegria de su venida. E un dia el dolfin hizo llegar toda su gente.

17r.

(1) دش لاش شانراش بر بواشتر کرتاشي | (2) | بارتد تمش مي غرن بلزار دا نوشته ر باند | (3) | يغر بش رواغ كا فغيش غرسيش ا ديش | (4) | دا بواش | اُشت بوان انبرا ا بش مند اغر | (5) | پاناشت ار بر اعر تمايش آل أنملغر بر | (6) | شانر ا بيا دا شاكيش شش مند ميانتش | (7) | دا اكاشتا بوان كرشتين اُشترنجار آل | (8) | كول ما شكد دا باراشين ا كيار كا اغر اُنع | (9) | بد ا دا شبوش دا م موارتا اي ال مشانري | (10) | ممش كا لا كيار فزار انر كم ا كش شنت | (11) | بر كا لاش آل ماجر انبارا ا مش شنت دا تد | (12) | آل مند انش كال دلفن ا تد ش جانت اُشتين | (13) | ا بلزار ا ينر دا برش ا يال تدش لش كَشش | (14) | اُشكجب ا بادا ي نك فبلب ا دش ال فريرا | (15) | كا دشياشا ال دلفن كا اكال فل كا

y dixo les : «Señores, porvuestra cortesia vosotros aveys muy gran plazer de nuestra venida, porque os ruego muy mucho quedeys gracias a Dios Nuestro Señor. Edespues a aqueste buen hombre, y todo quantoesperavays de mi, y de mi señorío quiero que ayays en aqueste christiano extranjero, el qual me delibro y ha sacadode prision, que quiero que en mivida y despues de mi muerte ayami señorío, yaun le quiero hazer mucha honrra como a cosa sancta, que es el mejor hombre y mas santo de todo el mundo.» Ansi que el dolfin y toda su gente estaban a plazer y honor de Pais, y el escuchava y veyay jamas nunca fablava, y dixo al frayle que dixesse al dolfin que aquella fija que tenia

17v.

(1) آن باراشين كال شكشا ال باردنشا ا شال دياشا | (2) | بر مجار ا لواغ آل فريرا ل دش ال دلفن ا يل دلفن | (3) | دش ي شي مي كنتانت مش ي ن بواد فزار ا | (4) | جا ل اترغر بر فوارس ا لواغ أنبي شال | (5) | ا رغر كنال فريرا ا كن آل بشب دا شن لرنش | (6) | ا كال ل كشيانشا اترغرا تمر بر مرد ا بر | (7) | كال ل اترغشا لا دش كا لا ش دري لواغ | (8) | تد ش دلفنلغ ا لواغ آل فريرا ا آل ابشب | (9) | فوارن ال باراشين ا دشيارن لا كم ش بدر | (10) | ل باردنب ا كا لا رغب كا اترغشا بر مرد | (11) | اد كال بوان كرشتين كا ابي شكادا ش | (12) | بدر ا دا كتب كا بر سيارت آل أر نبلا ا ن | (13) | بارا ا دا بوان لنج ا بين كا ابي مج تيان | (14) | ب كا ن ابي بشت جانتا الس لش اجش | (15) | اكاشت كا م بدر ا دزا

en prision que la sacasse y que la perdonasse y se la diesse por muger. Y el frayle lo dixo al dolfin y el dolfin dixo : «Yo soy muy bien contento, mas yo no puedo hazerselo otorgar por fuerça y embioselo a rogar con el frayle y con el obispo de Sant Lorenzo, y que ella lo

quisiesse otorgar y tomar por marido y porque lo otorgasse luego, les otorgay les dava todo su Dolfinazgo.» Y el frayle y el obispo fueron a la prision y dixeronle como su padre la perdonava y que quisiesse por marido aquel buen christiano que avia sacado a su padre de cativerio que el era de noble sangre y de buen lugar. E Viana que gran tiempo avia que no avia visto gente, aço los ojos al cielo y dixo. «De aquesto que mi padre dize

18r.

(1) ما باردن ا كيارا كا شاي أن م لبارتد | (2) ي لا دي مجش غرسيش مش ي ن  
شي بر أشر | (3) أنال مند كا بيان ا شابا ال بشب كاشتا اك | (4) باراشانتا بر كال بن  
اك كنال فج دال دكا | (5) دا برغن ا دا اءر اك شينبار ا اد دا بير ا بر | (6) أش ب  
ش دغ كا ي ن شي برأشر أنال مند ن ما | (7) نش اترغري انشا فاج ا دازد ا م  
بدرا | (8) م مي جشت كوش ا لواغ دشيارن اكال | (9) اش بدرا ا يال ابشب دش ك  
ا باردد ا | (10) كال ا ر مادي بدرد ا برش كا شبي | (11) بر ن كرت كا لا ابي أنبيد  
دارد ش كن- | (12) بنار تدش لش منارش كال تب كنال | (13) فج دال دكا دا برغن د  
ش كان تدش منا- | (14) رش كاري فبلر كنال ا تررن شا تد

me ha perdonado y quiere que sea en mi libertad, yo le doy muchas gracias. Mas yo no soy para estar en el mundo que bien lo sabe el obispo, que aqui esta presente, que el fue aqui con el hijo del duque de Borgoña, y desde entonces aca siempre me ha empeorado la llaga, poesso no so agora para bivar enel mundo, ni menos otorgaria tal fecho, y decid a mi padre aquesta mi causa.» Y el obispo y el frayle dixeron aquestas palabras al dolfin. Y el obispo dixo que verdaderamente ya era media podria, y Paris que sabia por una letra de Eduardo, su compañero, todas las maneras que Viana avia tenido con el hijo del duque de Borgoña, dixo que en todas maneras el queria hablar con ella. Y tornaron se todos

## D. 言語の特徴

「最征服 Reconquista」以後もイベリア半島に残存したアラビア人はキリスト教徒に改宗させられた。彼らはカスティリア語でモリスコ moriscos（モール人即ちアラビア人に似た人）と呼ばれ、アラビア語を用い、公にあるいは秘かにイスラムの教義を実践していたが、1566年イスパニア国王フェリペ二世 Felipe は彼らにイスパニア語を習得し、服装と習慣を改めさせる法律を發布した。反抗者はグラナダ Granada から追放され、主にカスティリアに、他はアラゴンに逃れ住んだ。識者の中にはイスラムを忘れさせないために、カスティリア語をアラビア文字で翻字した人々がいた。この翻字

された語をアルハミーヤ (*cast. aljama*) と言う。<sup>33</sup> 彼らは新鮮に映った恋物語『パリとヴィエンヌ』を取り上げ、それをアルハミーヤに翻字することにより、アラビア文字を忘れさせまいとしたのである。15世紀から16世紀にかけて翻字された作品は、イスラムの教義に関するものである。<sup>34</sup>

アルハミーヤは「外国人」を意味するアラビア語 *أجنبي* に由来し、ここから作られたアルハマ *aljama* がアラゴン Aragon の王ハウメ Jaume 一世 (位 1213~76) の年代記に「アラブ人の集落」の意味で初めて用いられる。

E que hi exissen de cada vna de les aljames deu veyles dels meylors e dels pus poderoses  
「各々のアルハマから最良のそして最強の二長老が出るように」

このアルハミーヤは1350年に「崩れたカスティリア語」の意味で用いられており、形容詞アルハミヤード *aljamiado* は1505年に現れる。

El castellano corrompido que hablaban los moros, h. 1350. Deriv. Aljamiado, 1505.<sup>36</sup>

この語の由来について、A. Steiger は *al-'ajamia* 語中音 'a の消失を主張し、<sup>37</sup> Gerald Hilty もそれに同調する。<sup>38</sup> アラビア人は14世紀から1607年にイベリア半島から徹底的に追放された1609年までこの文字を使用した。G. Hegyi は「イスパニアの場合においてはキリスト教徒の言語族 Sprachfamilie とは異なった言語群 Sprachbund に属するとみなすことが出来る」と主張する。<sup>39</sup> なお、この Sprachbund とは Trubetzkoy が統語的、語形的類似と一定数の教養語とを共有するが、音声的には対応しない言語群に対して用いた用語である。<sup>40</sup> ブルガリア語は一方ではスラブ語族に、他方ではバルカン諸言語に属する言語群とした。従って、アルハミーヤは想定されていない。因みに、モサラベ *mozarabe* は「アラビア人になった人」を指し、征服者アラビア人に服従したキリスト教徒を指す。<sup>41</sup> 彼らが伝えるハルジャ *Kharja* とムワッシャハ *Muwashshaha* は南仏

33 事情はまったく異なるが、日本において英語文などにカタカナを振ったり、電算機関係の用語をカタカナで表記するのと似ている。

34 Cf. Fuentes, *Mss.*

35 Cf. *Llibre dels feyts esdeuenguts n la uida del molt alt senyor Rey En Jacme le Conqueridor, tret del Ms. que l'onrat en Ponç de Copons, per la gracia de Deu, abbat del Monestir de Sancta Maria de Poblet, feu escriure de la ma d'en Celesti Destorrens e fo acabat lo dia de sent Lambert , a. xvij. del mes de setembre en l'any M.CCC.XL.III, Ed. Biblioteca Catalana, d'En M. Aguiló.* - 尾崎明夫 / ビセント・バイダル 訳・解説 『征服王ハウメ一世勲功録』 京都大学学術出版, 2010, p. 263.

36 Joan Corominas, *Breve diccionario etimológico de la lengua castellana*, Madrid, Gredos, 1967, p. 42<sup>a</sup>.

37 Steiger, § 35, β, p. 281,

38 Gerold Hilty, compte rendu de *Cinco leyendas y otros relatos moriscos (Ms. 4953 de la Biblioteca Nacional, Madrid)*, Edición, estudio y materiales por Otmar Hegyi, [Colección de Literatura española aljamiado-morisca 4], Madrid, Gredos, 1931, in *Revue de linguistique romane* 49 (1985), p. 219.

39 G. Hegyi, «Una variante islámica del español: la literatura aljamiada», in *Homenaje a Álvaro Galmés de Fuentes I*, Oviedo, Universdade Oviedo - Madrid, Editorial Gredos, 1985, p. 648.

40 N. S. Trubetzkoy, Proposition 16, in *Actes de Premier Congress Inernational de Linguistes à la Haya*, Leyden, 1930, p. 18.

41 Menéndez Pidal, p. 415, § 86.



抒情詩との関連が未だ明白でない。<sup>42</sup>

引用した文例において、アルハミーヤとカスティリア語とを対比して見よう。<sup>43</sup> アルハミーヤとカスティリア語との相違が明らかである。以下、*cast.* は *castellano* の略である。

D.1]	語頭音		
D.1.1]	残存		
D.1.1.1]	cl-, fl-, pl- <sup>44</sup>		
		16r. (9)	كلباتش <i>cast. claves</i>
		16v. (15)	بالاغر <i>cast. plegar</i>
D.1.1.2]	添加 <sup>1</sup>		
		2r. (2)	اكيل <i>cast. caval</i>
		6v. (9)	اشبار <i>cast. saver</i>
D.1.2]	単音欠落		
D.1.2.1]	a-		
		1r. (11)	كتاك <i>cast. (cata) aqui</i>
		2v. (13)	دننا <i>cast. adelante</i>
		4r. (10)	مانغوشا <i>cast. amenguasse</i>
D.1.2.2]	e-		
		6v. (10)	دارد <i>cast. Eduardo</i>
D.1.2.3]	o-		
		2r. (6)	ر <i>cast. ora</i>
		17v. (5)	بشب <i>cast. obispo</i>
D.1.2.4]	u-		
		18r. (11)	ن <i>cast. una</i>
D.1.3]	音群欠落		
D.1.3.1]	agu-		
		1r. (14)	وش <i>cast. Aguas</i>
D.1.3.2]	defen-		

42 Cf. A. R. Nykl, *Hispano-Arabic Poetry and its Relations with the Old Provençal Troubadours*, Baltimore, Furst, 1946, reprint 1970; S. M. Stern, *Les chansons mozarabes, les vers finaux (kharjas) en espagnol dans les muwashshahas arabes et hébreux*, édités avec introduction, annotation sommaire et glossaire, Cassirer, Oxford, 1953, reprint 1964.

43 Fuentes, *Historia*, Apéndices I, Pasajes de la versión castellana, correspondientes al texto aljamiado, pp. 253- 68.

44 Menéndez Pidal, 90. 1] p. 432; Fuentes, *Historia*, 228.

	3v. (1)	دار	<i>cast. defender</i>
D.1.3.3]	di-		
	2r. (6)	ز	<i>cast. dize</i>
D.1.3.4]	ja-		
	6v. (3)	مش	<i>cast. jamas</i>
D.1.3.5]	mez-		
	6v. (2)	کین	<i>cast. mezquina</i>
D.1.3.6]	occa		
	4r. (2)	شین	<i>cast. occasion</i>
D.1.3.7]	perdi-		
	4r. (2)	سین	<i>cast. perdicion</i>
D.1.3.8]	se-		
	16r. (3)	نر	<i>cast. Señor</i>
D.1.3.9]	to-		
	18v. (13)	دش	<i>cast. todas</i>
D.2]	語中音		
D.2.1]	b (< v) の残存 <sup>45</sup>		
	1v. (12)	شیدد	<i>cast. ciudad</i>
D.2.2]	d の添加 (動詞二人称複数) <sup>46</sup>		
	3v. (2)	کارِ دَاش	<i>cast. querays</i>
	4r. (11)	کتا دَاش	<i>cast. quiteys</i>
	3v. (4)	شارِ دَاش	<i>cast. sereys</i>
D.2.3]	n の添加 <sup>47</sup>		
	3r. (3)	ایش	<i>cast. asi</i>
D.2.4]	[j] の挿入 <sup>48</sup>		
D.2.4.1]	e - a		
	1v. (13)	ا یال	<i>cast. E alli</i>
	2v. (12)	ا ینش	<i>cast. E assi</i>
	10v. (15)	باي	<i>cast. vea</i>

45 Fuentes, *Historia*, p. 225.

46 Fuentes, *Historia*, p. 225.

47 Fuentes, *Historia*, p. 225.

48 Fuentes, *Historia*, pp. 226-7; Steiger, p. 300, Voces advenedizas, b).

D.2.4.2]	i – a		
	16v. (2)	ايل	cast. y al
	3r. (5)	اي	cast. y a
	10r. (3)	ايوغو	cast. y agua
	10v. (6)	ايل	cast. y alli
	4r. (13)	ايش	cast. y ansi
	10v. (5)	ياشبال	cast. y aYsabel
D.2.4.3]	i – e		
	1v. (13)	يال	cast. y el
	6v. (8)	ايلان	cast. y en [16v. (14) ال ان] cast. alli en]
D.2.4.4]	i – o		
	10r. (16)	دي	cast. dio
	10v. (6)	ناتر	cast. ni otra
	17r. (13)	اينر	cast. y honor
	6v. (9)	ايتر	cast. y otro
D.2.4.5]	i – u		
	16v. (14)	اين	cast. y un [16v. (14) ين] cast. y un]
D.2.4.6]	en – ien <sup>49</sup>		
	2r. (8)	تيانغ	cast. tenga
D.2.4.7]	in – eyn	(-igi > -ī-) <sup>50</sup>	
	2r. (10)	بنتا	cast. veynte (< viginti)
D.2.5]	[w] の挿入 <sup>51</sup>		
	4r. (3)	لور	cast. la ora
D.3]	語末音		
D.3.1]	d の残存 <sup>52</sup>		
	1r. (11)	برد	cast. par ad
	16r. (15)	بياداش	cast. pedes
D.3.2]	s の消失		
	3v. (10)	ا	cast. os
	18r. (14)	تد	cast. todos

49 Pottier, p. 100, II, Fonetica, 1. Vocales, a) Acctuadas 3]; Umphry, p. 9, 1.

50 Fuentes, *Historia*, p. 229.

51 Steiger, p. 360, § 42.

52 Fuentes, *Historia*, p. 228.

D.3.3]	音群欠落			
D.3.3.1]	-beys			
	3v. (10)	ش	<i>cast. sabeys</i>	
D.3.3.2]	-do			
	3r. (1)	داشترِب	<i>cast. disturbado</i>	
D.3.3.3]	-ia			
	4r. (5)	اِب	<i>cast. avia</i>	
D.3.3.4]	-os			
	1r. (11)	بِر	<i>cast. hartos</i>	
	2r. (2)	كِبَل	<i>cast. cavalleros</i>	
D.3.3.5]	-re			
	3v. (6)	ف	<i>cast. hare</i>	
D.3.3.6]	-rio			
	17v. (12)	كَتَب	<i>cast. cativerio</i>	
D.3.3.7]	-ro			
	3r. (8)	ك	<i>cast. caro</i>	
D.3.3.8]	-sde			
	18r. (5)	دا	<i>cast. desde</i>	
D.3.3.9]	-te			
		<sup>53</sup> ∅		
	6r. (15)	كِنَوَار	<i>cast. conorte</i>	
	4r. (12)	دِيَمِن	<i>cast. diamante</i>	
D.3.3.10]	-tad			
	1r. (1)	بَلِن	<i>cast. voluntad</i>	
D.3.3.11]	-tra			
	1r. (1)	نَوَاشَا	<i>cast. nuestra</i> [6v. (7) بَوَاشْتَر <i>cast. nuestra</i> ]	
	4r. (1)	بَوَاش	<i>cast. vuestra</i>	
D.3.3.12]	-tro			
	1r. (1)	نَوَش	<i>cast. nuestro</i> [10r. (16) نَوَاشْتَر <i>cast. nuestro</i> ]	
D.4]	音位轉換			
D.4.1]	d ∞ r			
	4r. (8)	كَارَادَاش	<i>cast. querays</i>	
	4r. (9)	كَارَادَاش	<i>cast. quereys</i>	

53 Pottier, p. 100, II. Fonetica, 1. Vocales, c) Finales, 7].

D.4.2]	r ∞ d		
	3v. (4)	بريداش	cast. podiades
D.4.3]	r ∞ s		
	2r. (4)	بشكرش	cast. pesquisare
D.5]	連音		
D.5.1]	con - e		
	17v. (5)	كنال	cast. con el [17v. (5) كن ال]
	18r. (14)	كنال	cast. con ella
	16r. (3)	كناشنا	cast. con este
D.5.2]	en - e		
	18r. (3)	أنال	cast. en el
	4r. (12)	انلكول	cast. en elqual
	10r. (12)	انالممر	cast. en ell amor
	18r. (7)	أناشا	cast. en ese
	6v. (4)	اناشترن	cast. en estraña
D.6]	母音融合		
D.6.1]	e - a		
	3r. (1)	كا	cast. que ha
D.6.2]	e - e		
	16r. (13)	كال	cast. que el
	3v. (3)	كال	cast. que ella
	3v. (3)	كائبي	cast. que embio
	18r. (13)	كان	cast. que en
	2r. (10)	كاشت	cast. que esta
D.7]	音韻対応		
D.7.1]	ا cast. h [ø]		
	6r. (15)	ا باندا	cast. ha venido
	6v. (8)	ارادميان	cast. heredamiento
	6v. (9)	اي	cast. haya
D.7.2]	ت cast. h [ø]		
	1v. (16)	بيات <sup>54</sup>	cast. pie (< pede)

54 Menéndez Pidal, 90] 1, p. 431; Umphry, p. 27, 22.

D.7.3]	ج	cast. [x]	
D.7.3.1]	語頭 <sup>55</sup>		
	1v. (13)	جرد	cast. Jordi
	3v. (5)	جشت	cast. justa
	4v. (13)	جمش	cast. jamas
D.7.3.2]	語中 <sup>56</sup>		
	1v. (1)	ابراجنش	cast. aparejadas
	1v. (9)	ماجراش	cast. mejores
	4v. (11)	ماجر	cast. mejor
	17v. (1)	مجر	cast. mujer
D.7.3.3]	語末 <sup>57</sup>		
	3r. (10)	كتشاج	cast. consejo
	17r. (15)	فج	cast. fija
	1v. (11)	بجا	cast. page
D.7.4]	ج		cast. [s]
	17v. (4)	جا	cast. se
D.7.5]	ج		cast. [tʃ] <sup>58</sup>
	2r. (1)	نجا	cast. noche
	2v. (4)	مج	cast. mucho
D.7.6]	د	∅	
	17v. (11)	اد	cast. a (< ad)
D.7.7]	ش		cast. x <sup>59</sup>
	4r. (10)	داشر	cast. dexar
D.7.8]	ف		cast. h [∅] <sup>60</sup>
	2v. (7)	فبلاشتاش	cast. hablastes
	1r. (2)	فيل	cast. hablo
	4r. (3)	فغداش	cast. hagades
	3v. (6)	ف (sic)	cast. hare
	4v (4)	فرا	cast. haré

55 Steiger, § 26, b), p. 188.

56 Steiger, § 26, c), p. 190.

57 Steiger, § 26, d), p. 193.

58 Steiger, § 26, d), pp. 193-5; Umphry, p. 19, 14.

59 Steiger, § 27, b), p. 198.

60 Alvar, p. 42., 20; Fuentes, *Historia*, p. 224.

	1v. (16)	فشت	<i>cast. hasta</i>
	3v. (8)	فزار	<i>cast. hazer</i>
	4v (4)	فرا	<i>cast. haré</i>
	4v. (9)	فزيائشا	<i>cast. hiziesses</i>
	1r. (3)	فزيائشاش	<i>cast. hiziesses</i>
D.7.9]	ك		<i>cast. [g]</i> <sup>61</sup>
	3r. (7)	بنكدك	<i>cast. vengada</i> (< <i>vendicata</i> )
D.7.10]	ل		<i>cast. r</i> <sup>62</sup>
	17v. (2)	فريرا	<i>cast. frayle</i>
D.7.11]	لل		
	1v. (8)	ايرائشا	<i>cast. aparejase</i> (< <i>icūlu</i> )
D.8]	語彙不同		
D.8.1]	名詞	17v. (12-13)	انبر <i>cast. sangre</i>
		16r. (12)	اج <i>cast. mientes</i>
		3v. (4)	بارنسا <i>cast. palabras</i>
		2v. (4)	بد <i>cast. anima</i>
		1v. (11)	بر <i>cast. hartos</i>
		1r. (16)	دنر <i>cast. nolito</i>
		3r. (5)	شائر <i>cast. donzella</i>
		18r. (13)	كرت <i>cast. letra</i>
		1r. (2)	كنبار <i>cast. amigo llamado</i>
		17v. (13)	لنجا <i>cast. lugar</i>
		10r. (9)	لنر <i>cast. linaje</i>
		16v. (1)	مرن <i>cast. ribera de la mar</i>
D.8.2]	代名詞	2r. (8)	كولكيارا <i>cast. todo</i>
D.8.3]	形容詞	17v. (13)	مج <i>cast. gran</i>
		4r. (5)	غرنداش <i>cast. muchos</i>
D.8.4]	動詞	3r. (9)	ايرالد <i>cast. dispuesto</i>
		10r. (8)	ايشار <i>cast. querer amenguar</i>
		1r. (15)	ابل <i>cast. se descendio</i>
		17v. (10)	اترغشا <i>cast. quisiesse</i>

61 Steiger, § 28, b), 3, p. 206.

62 Steiger, § 25, d), p. 179.

		10v. (18)	اشبار	<i>cast. saber</i>
		10v. (10)	اتمرد دا	<i>cast. encendido en el</i>
		1v. (11)	لايرن	<i>cast. tomaron</i>
		16v. (10)	لايشان	<i>cast. truxeron</i>
		16v. (12)	الاغري	<i>cast. plazer</i>
		1r. (7)	الكاشاش	<i>cast. fletasse</i>
		1v. (11)	لايرن	<i>cast. tomaron</i>
		3r. (4)	برتش	<i>cast. vayas</i>
		3v. (6)	بنار	<i>cast. meter</i>
		2r. (14)	ترنرا	<i>cast. dare</i>
		16r. (10-11)	داشفارشا	<i>cast. defferasse</i>
		2r. (15)	دانتر	<i>cast. entro</i>
		2v. (1)	دش	<i>cast. respondio</i>
		1v. (12)	شاليارن	<i>cast. fueron se</i>
		1v. (16)	شاليارن	<i>cast. fueron</i>
		2r. (4)	شانترا	<i>cast. supiere</i>
		6v. (2)	كتد	<i>cast. perded</i>
		3r. (12)	كترا	<i>cast. mataria</i>
		3v. (5)	ماتي	<i>cast. puso</i>
		1v. (1)	مر	<i>cast. paro</i>
D.8.5]	副詞	1r. (13)	كتتانت	<i>cast. presto</i>
		4r. (3)	لور	<i>cast. entonces</i>
		1r. (1)	لوغ	<i>cast. breve</i>
		10v. (4)	مي	<i>cast. bien</i>
		16r. (11)	مي	<i>cast. tant</i>
D.8.6]	副詞句	16v. (7)	دا برت	<i>cast. alli</i>
		1r. (2)	لوغ	<i>cast. en breve</i>
D.8.7]	前置詞	16v. (4)	أن	<i>cast. fasta</i>
D.8.8]	前置詞句	16r. (15)	دال	<i>cast. al</i>
D.8.9]	接続詞	2r. (16)	كوند	<i>cast. que</i>
		16r. (8)	لعر	<i>cast. E</i>
D.9]	動詞語尾	10v. (4)	بدياشا	<i>cast. pudiessen</i>
		10v. (10)	برتي	<i>cast. partiosse</i>



D.10]	嵌入語		
		2r. (2)	اكبل
		17r. (7)	لکا
		2r. (1)	ي
D.11]	文		
D.11.1]	بيانش کا دابا شار اُشت	3r. (7)	<i>cast.</i> parece que es con vos
D.11.2]	رغب کا الترغشا	3r. (7)	<i>cast.</i> quisiesse
D.11.3]	برکال بن	18r. (4)	<i>cast.</i> que el fue

## E. 統 語

E.1]	所有形容詞		定冠詞 + 所有形容詞
E.1.1]	el		
	م کرسن	2v. (4)	<i>cast.</i> el mi coraçon
E.1.2]	la		
	م لك	6r. (13)	<i>cast.</i> la mi loca
E.1.3]	ell <sup>63</sup>		
	اياللم	3v. (12)	<i>cast.</i> y ell elma
	بدرا	17v. (15)	<i>cast.</i> ell obispo
E.2]	شا の添加		
	ش تيارش	1v. (2)	<i>cast.</i> torna
E.3]	ا の使用		
E.3.1]	基数		
	بنت ا سنك كيلارش	2r. (10-11)	<i>cast.</i> XXV
E.3.2]	迂現法		
	بن ا بشكر	2r. (2)	<i>cast.</i> van buscando
E.3.3]	不定法		
	در ا كمر	10v. (6)	<i>cast.</i> dar de comer
E.4]	語順不同		
	ا ما	18r. (1)	<i>cast.</i> me ha
	ابي مج تياب	17v. (13 - 4)	<i>cast.</i> gran tiempo avia
	بن ا يوغو ان بلو	10r. (3)	<i>cast.</i> una vez al dia pan y agua

63 Fuentes, *Historia*, p. 229.

تدش فوارن 16r. (7)	<i>cast. fueron todos</i>
كاشت الك 18r. (3)	<i>cast. que aquí esta</i>
مچ رغ 4r. (14)	<i>cast. rogo mucho</i>

## F. 誤記

17v. (4)	جال	<i>cast. se le</i>
18r. (4)	بر كال بن	<i>cast. con le hijo</i>

## G. 表現の相違

- G.1] ال بوارت دا 1r. (6)  
*cast. fasta*
- G.2] مر مي بيان 1r. (6)  
*cast. me parece que es con vos y dize que todo*
- G.3] تد كونت آل مندش ا تم امناد 1r. (12-13)  
*cast. su mandamiento*
- G.4] ا باتد 2r. (6)  
*cast. agora es*
- G.5] ا زا كا كواكيرا كا دابا شار ائت 2r. (8)  
*cast. es con vos y ddize que todo*
- G.6] انش باتد 2v. (1)  
*cast. venis assi*
- G.7] 3r (16) ا مي داسا بين | 3v (1) دارما دا بواشترش مي د لساش بلبرش براش | (2) بش رواغ كاش  
نكارداش بارمفن | (3) كال شار باراب ا  
*cast. Señora, no me podre | defender a las vuestras palabras, porque vos ruego  
que no querays ver la mi fin, ca es muy*
- G.8] ا باردار آل كوارب ا ألم 4r. (2)  
*cast. y mi anima a perdicion*
- G.9] شا مانغوشا برتر ناغن باراشن 4r. (10-11)  
*cast. entre ellos era por eso no se amengasse*
- G.10] بن ايوغو أن باز ال دي 10r. (3)  
*pan y agua una vez al dia*

- G.11] كيار كم اد كال بش | تننت امانسش ا مش 10r.(6)  
ame como a Paris, y aun
- G.12] مي الاغرامنتا 16v. (2)  
cast. con muy gran alegria
- G.13] دش كا لا شدري لواغ 17v. (7)  
cast. les daria a luego
- G.14] اعر 18r. (5)  
cast. entonces
- G.15] اكال 18r. (8)  
cast. aquestas palabras

## H. アラビア語法

H.1] 従属接続詞 كا の介入<sup>64</sup>

دش برش كا ي 3r. (6)

cast. dixo Paris que yo

H.2] 等位接続詞 ا の頻用<sup>65</sup>

1r.(1) كا نواشا برتد شا لواغ ا برش كا بي ل بلن | (2) دا بين لواغ فوا افيل كن ش كتنبار | (3) جرد ادش  
que nuestra partida sea breve, y Paris, que veyá la voluntad de Viana, en breve fue su  
pensamiento deliberado, y prestamente se partio de allipor dar cumplimento de aquello que  
Vianale avia dicho. E hablo primeramente con su amigollamado Jordi, y dixo le

1v.(1) ش مي بيان ابراجدش ! مر مي بيان لش تيارش ا ب. | (2) شش ا باراشتماننا شا ترن ا برش ا لا | (3)  
راشبواشت ! لا دش كم آرتد مي بيان ابرالد | (4) ا كا مرشا ش اتر كش مندب ا برش لا دش | (5) كا لا  
فزياشا بلزار دا ترنر شا كن ال ! جرد دش | (6) كا ركتانت ا باراشتماننا أنبي ا دازر ا بين | (7) كا تد آر  
مي بيان ارداند ا كا اكال نجا ال |

muy bien aparejados, y paro mientes las tierras y passos, y prestamente torno a Paris respuesta  
como todo era muy bien ordenado, si otra cosa mandava, que el erapresto a su plazer, y Paris  
le dixo que fuesse con el, y prestamente embio a dezir a Viana que todo era muy bien  
ordenado,

64 Pottier, p. 121, Repeticiones inútiles de palabras, 27].

65 Fuentes, *Historia*, pp. 239-41.

## 1. 1 と ʾ の分布

1			1			
a	a	1r. 5	a	ألش	allos	2v. 11
	أبار	3v. 5	e	أل	el	2r. 3
	أبى	10r. 13		أل	él	1v. 14
	أبرس	abraço		أل	ella	4r. 15
	أغر	agora		أن	en	1r. 10
	أكل	akella		أنمرد	enamorado	10v. 10
	أكل	akello		أنكماد	enkommendô	4r. 6
	النت	algun		أنكيارتش	encuieritos	2r. 9
	التمانتا	altamente		أنياراش	empresa	6r. 14
	أبراجس	aparejadas		أنتر	entrar	10v. 4
	أكال	akel		أنبيد	enviado	18r. 11
	أكاشت	akesta		أنبي	envio	1v. 6
	أل	al		أر	era	1v. 3
	أنش الغن	alguna		أرادميانت	ereddamiento	6v. 8
	النفمات	altamente		أنش	es	2v. 4
	امغ	amigo		أشكجب	escuchaba	17r. 14
	أنش	ansi		أشكش	escusa	3r. 5
	أرمش	armas		أشبذ	espada	3v. 6
	أش	as		أشبارد	Esperad	2r. 14
	أش	asi		أشكارأبر	eskrebir	6v. 1
	أترمانتر	atormentar		أشبارنش	esperança	6r. 12
	أترغر	atorgar		أشنب	estaba	10r. 11
	أى	aya		أشتبل	estable	1v. 9
au	أان	aun		أشتا	estar	6r. 12
	أانك	aunke		أشتر	estará	10r. 14
e	أل	el		أشش	estó	2r. 2
	أن	en		أشت	estos	2r. 2
é	أل	él		أشترن	extraña	6v. 3-4
i	أ	i		أشترنجر	extranjero	17r. 7
	أغلاشى	iglesia	é	أنت	ésta	2v. 15
	أن	in				
	أشبال	Isabel				
o	أ	O!				
	أشبن	obispo				
	أجش	ojos				
	أنبار	onbre				
	أنر	onor				
	أنردمانتا	onradamento				
	أرداند	ordenado				
	أتر	otra				
	أى	oyo				
u	أب	ubo				
	أن	un				
	أن	una				

上記から 1 は a, au, e, é, o, u に、ʾ は a, e, é に対応していることが分かる。しかし 1 に対する e, é と ʾ に対する a は誤記であるとすれば、1 は a, au, i, o, u の、ʾ は e, é の翻字であることになる。

## Ⅱ. 結 語

『パリとヴィエンヌ』のアルハミーヤ文は次の特徴をもつ。

- I 転記
  - I.1 物語の中程の部分に過ぎず、1r. (1) 𐌺で始まり、18r. (14) 𐌺で中断される。
  - I.2 物語の筋の発展を追うことを不可能にするほど省略が多い。
  - I.3 翻字者は慎重さに欠ける。
  - I.4 カステイリア語文と同一の写本に由来するとは考え難い。
    - I.3.1 単音のみでなく音群が欠落する。[D.1.2] [D.1.3]
    - I.3.2 誤記がある。[F]。
- II アラゴン語法<sup>66</sup>
  - II.1 古風として子音群 cl-, fl-, pl- が残存する。[D.1.1.1]
  - II.2 語頭音 l が添加される。[D.1.1.2]
  - II.3 語中音 b (< v) が残存する。[D.2.1]
  - II.4 語中音 d が添加される。[D.2.2]
  - II.5 語中音 n が添加される。[D.2.3]
  - II.6 カステイリア語と音韻対応を示す。[D.7]
  - II.7 カステイリア語と語彙を異にする。[D.8]
  - II.8 カステイリア語と表現を異にする。[G]
- III アラビア語法
  - III.1 [j] が発達する。[D.2.4]
  - III.2 [w] が発達する。[D.2.5]
  - III.3 語末音 s が消失する。[D.3.2]
  - III.4 音群が欠落する。[D.3.3]
  - III.5 音位が転換する。[D.4]
  - III.6 連音が表記される。[D.5]
  - III.7 母音が融合する。[D.6]
  - III.8 アラゴン語の文に対応しない。[D.11]
  - III.9 若干のアラビア語法は保持<sup>67</sup>される。[H]
- IV l と l̄ は区別されていた。[I]

66 Fuentes, *Historia*, pp. 253-68.

67 Fuentes, *Historia*, pp. 234-41.

参考文献

- Alvar Manual Alvar, *El dialecto aragonés*, [Biblioteca Romanica Hispanica, III, Manuals], Madrid, Gredos, 1953.
- Babbi *Paris et Vienne, romanzo cavalleresco del XV secolo*, a cura di Anna Maria Babbi, Milano, Franco Angeli, 1992.
- Coville A. Coville, *La vie intellectuelle dans les domaines d'Anjou-Provence*, pp. 481-91.
- Fuentes, *Historia* Álvaro Galmés de Fuentes, *Historia de los amores de París y Viana, Edición, estudio y materiales*, [Colección de literatura española aljamiado-morisca 1], Madrid, Gredos, 1970.
- Fuentes, *Mss.* Álvaro Galmés de Fuentes, *Los manuscritos aljamiado-morisca de la Real Academia de la Historia (Legado Pascual de Gayangos)*, Madrid, Real Academia de la Historia, 1998, XXVI (Signatura: 11/9416; olim V-1),
- Kaltenbacher Robert Kaltenbacher, *Der altfranzösischen Paris et Vienne*, Erlangen, Verlag von Fr. Junge, 1904.
- Kontzi Reinhold Kontzi, «Calcos semánticos en textos adjamiados», in *Actas del Coloquio internacional sobre la literatura ajamiada y morisca*, Madrid, Gredos, s. d.
- Menéndez Pidal Ramón Menéndez Pidal, *Orígenes del español, estado lingüístico de la península ibérica hasta el siglo XI, nueva edición (según la tercera muy corregida y adicionada)*, [Obras completas de R. Menéndez Pidal VIII], Madrid, Espasa-Calpe, 1980.
- Pottier Bernard Pottier, «Miscelánea de Filología Aragonesa», in *Archivo de Filología*, Diputación Provincial de Zaragoza, Institución Fernando el Cathólico, 1945.
- Ribémont Bernard Ribémont, «Un roman idyllique» du XV<sup>e</sup> siècle et le droit matrimonial: *Paris et Vienne* de Pierre de la Cépède, in *Studia romanica posnaniensia*, vol. 38/1, 2011.
- Saavedra Eduardo Saavedra, «La historia de los amoes de París y Viana, tranladada por un morisco», in *Revista Historica*, Año III. N.º XXII, 1876.
- Steiger Arnald Steiger, *Contribución a la fonética del hispano-árabe y de los arabismos en el ibero-románico y el siciliano*, [Biblioteca de Filología Hispánica 2], Madrid, Consejo Superior de Investigaciones Científicas, 1991.
- Umprhy G. W. Umprhy, «The Aragonese Dialect», in *Revue hispanique* XXIV, New York - Paris, pp. 5-45, 1911.

関連文献

- 愛場百合子 アルハミア文献としての『パリスとピアナの愛の物語』の研究に向けて「東京外国語大学言語・地域文化研究 2」1996, pp. 305-26.  
アルハミア版『パリスとピアナの愛の物語』(1) —カステイーリア語版との比較において—「駿河大学論集 23」2002, pp. 117-37.  
アルハミア版『パリスとピアナの愛の物語』(2) —スペイン語版との比較において—「駿河大学論集 25」2003, pp. 45-66.

『パリとヴィエンス』のアルハミーヤ文

尾崎久雄

中低地ドイツ語『パリスとヴィエナ』試訳（上）「大阪大学大学院言語文化研究科 言語文化の比較と交流 I」2014, pp. 1-16.